

○議長（河野） 5 番、森繁樹君。

○5 番（森） はい。議長。

○議長（河野） 森君。

○5 番（森） 5 番、森です。

○議長（河野） はい、森君。

○5 番（森） それでは通告に従い一般質問をさせていただきます。

「自転車の交通安全と E－b i k e の可能性について」。

先般、S e t o u c h i V é l o のトライアルライドとして、E－b i k e で町長をはじめ、町職員、商工会青年部、活性化協議会の方々、様々なメンバーと一緒に高鉢山の風穴を往復してきました。たくさんの自治体が E－b i k e というツールを使って、健康増進や、道路交通法を順守した正しい運転の啓発や、観光目的と様々な利用を試みていると聞いています。本町ではどのように進めていくとお考えか、お聞かせください。

次に、自転車の事故に関する事ですが、香川県は年間の人口に対する自転車の事故件数が多いと聞いています。綾川町での事故件数はどうでしょうか。お伺いします。また、年齢別に分かるようならそれも教えてください。

これらの事を考慮しますと、健康増進や観光、地域振興、様々な効果を狙えるコンテンツではありますが、まず大切なことは安全面での配慮ではないでしょうか。それらに対する考えも聞かせてください。お願いします。

○議長（河野） 前田町長。

○町長（前田） はい、議長。

○議長（河野） 町長。

○町長（前田） はい。

○町長（前田） ご質問にお答えをいたします。

E－b i k e は一般的な電動自転車に比べ、ペダルへのモーターアシストの割合が高く、長距離走行や傾斜のきつい坂道でも、体に負担をかけずに走行することが可能です。このことは8月20日に開催いたしました「綾川町トライアルライド」において、綾上支所から高鉢山の風穴間を私も実際に走行し、実証事業を実施しております。

綾川町におけます自転車事業は、令和4年度に開催いたしました高校インターハイの自転車ロードレースを皮切りに、令和5年度にはスポーツサイクルの体験会、今年度9月15日には「あやがわ自転車ロードレース C O P P A A Y A G A W A」の開催など、主に競技として機運の高まりを見せております。

自転車の日常的な使用を想定した E－b i k e ではありますが、観光、健康、環境、交通面の課題解決など様々な可能性を持っております。観光面では、利用者は目的地までの風景を楽しんだり、気になったお店に気軽に立ち寄れたりするなど、車ありきの観光では成しえなかった新たなかたちが期待できます。来年2025年には香川県内では瀬戸

内国際芸術祭、かがわ・山なみ芸術祭の開催、そして大阪・関西万博が開催される年でもありまして、インバウンド層へのPRにもなります。

健康面では日常的に使用することで、運動不足解消や高齢者の筋力の維持向上にもつながります。環境面では、二酸化炭素を排出しない脱炭素化型の乗り物として、交通面では免許を必要としないことから高齢化の著しい過疎地域における新たな移動手段としても期待できます。今後町として検証を実施しつつ、E-bike普及に向けて進めてまいりたいと、そのように考えております。

次に自転車の事故数についてであります。高松西警察署に照会いたしましたところ、令和5年におけます人身事故として処理された自転車の交通事故件数であります。8件となっております。また、年代別の事故当事者は、10代が4名、20代が1名、30代が1名、60代が3名、70代が1名の合計10名となっております。

令和6年1月1日から9月1日までの交通事故件数は3件となっており、年代別の事故当事者は、10代が2名、60代が1名の合計3名となっております。

香川県全体におけます、令和5年中の自転車に関係した交通事故発生件数、これは590件となっております。綾川町における事故件数が多いという状況は現時点で見受けられませんが、E-bikeを導入することとなった場合の交通安全に係る各種措置はこれまで以上に必要となってくると考えております。

引き続き香川県警察等各所と連携し、春・秋の全国交通安全運動キャンペーン等を通じた周知啓発等に取り組むとともに、E-bikeの啓発に合わせてヘルメット着用の重要性を啓発し、ヘルメット補助金制度の活用促進を通じてヘルメット着用率の向上に努めるなど、各種交通安全施策を実施・研究してまいりたい、そのように考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（河野）再質問はございませんか。

○5番（森）はい、議長。

○議長（河野）森君。

○5番（森）答弁ありがとうございました。

様々な、いろんな分野で検討していくというふうにお答えいただいたところなんですけれども、それは例えば、健康増進だったら、健康福祉課であつたりとか、観光目的となるといいまちさんだったり、経済課だったりとか、いろんな課で検討していくということという認識でよろしいですか、どうですか。お願いします。

○議長（河野）福家いいまち推進室長。

○いいまち推進室長（福家）はい。

○いいまち推進室長（福家）森議員の再質問にお答えをいたします。今いろんな面で、町長答弁でもございました通り、いろんな面で活用していくというお話をしました。ご質問でもありました通り、まさにその通りでありまして、いろんな可能性がある自転車の部分なので、可能性の部分と問題点をしっかり関係する機関で話し合って、より

良い方向に、この自転車利用が進めばいいと考えております。以上答弁いたします。

○議長（河野） 再々質問はございませんか。

○5番（森） はい。議長。

○議長（河野） 森君。

○5番（森） はい。ありがとうございました。僕も、そこが一番大事だなと思っております。ちょっと話逸れますけれども、以前も、何度か言わしていただいたんですけど、アプリに関してだったり、経済課がするだけでなく他の課も使えるような部分があるっていうところだったりとか、検討していただきたいていうところだったり、エンディングノート、まだ言いますけど、エンディングノートもそうで、結局いろんな課が使えるというか、検討して、利用していかないと、パフォーマンスがもったいないんじゃないかっていう点を、すごく強く言いたいところであります。

今回も、前段なりますが、僕、また自転車かみたいなことをよく言われたりするんですけど、別に僕自転車に特化したいわけではないんですけど、たまたま、このE-bikeの話があったんで、これはこれで、ポテンシャルのあるコンテンツだと思うので、これをするんだったら、もう理解いただいてると思いますけど、いろんなところから、検討して、いろんな課で力合わせてやっていただけたらというところが強く言いたいところです。

すごい町長と、福家室長、めっちゃうなずいてくれてますけど、そういうことと判断して要望として終わらせていただきますありがとうございました。

○議長（河野） 以上で森君の一般質問を終わります。